

TAS

タング付きストレートシャンクドリル

TAS 1102 : 2013

(JSCTA)

平成 25 年 3 月 28 日改正

日本工具工業会技術委員会審議

(日本工具工業会 発行)

日本工具工業会 技術委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	関 口 徹	株式会社不二越
(副委員長)	日 比 康 晴	オーエスジー株式会社
(委員)	西 川 正 寿	三菱マテリアル株式会社
	足 立 哲 也	オーエスジー株式会社
	坂 梨 新	高周波精密株式会社
	阿 部 和 正	三菱マテリアル株式会社
(専務理事)	菊 池 泰 路	三菱重工業株式会社
	三 井 雅 夫	株式会社彌満和製作所
	日下部 祐 次	日本工具工業会
(事務局)	鈴 木 一 貫	日本工具工業会

審 議 部 会 : 日本工具工業会 技術委員会 (委員長 関口 徹)

審議専門委員会 : 日本工具工業会 ドリル専門委員会 (委員長 関口 徹)

この規格についてのご意見又はご質問は、日本工具工業会事務局 [〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2 丁目 25 GYB 秋葉原 12F] にご連絡ください。

タング付きストレートシャンクドリル

Straight Shank Twist Drills with Tang Drive

序文

この規格は、1970年に制定され、今日に至っている。その後の **JIS B 4313**（高速度工具鋼ドリル—技術仕様）の制定に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、直径 3.0mm を超え 17.5mm 以下のタング付きストレートシャンクドリル（以下、ドリルという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0171 ドリル用語

注記 対応国際規格：ISO 5419:1982, Twist drills—Terms, Definitions and Types(MOD)

JIS B 0401-2 寸法公差及びはめあい方式—第2部：穴及び軸の公差等級並びに寸法許容差の表

注記 対応国際規格：ISO 286-2:1988, ISO system of limits and fits—Part2 : Tables of standard tolerance grades and limit deviations for holes and shafts(IDT)

JIS B 4301 ストレートシャンクドリル

注記 対応国際規格：ISO 235:1980, Parallel shank jobber and stub series drills and Morse taper shank drills(MOD)

JIS B 4302 モールステーパシャンクドリル

注記 対応国際規格：ISO 235:1980, Parallel shank jobber and stub series drills and Morse taper shank drills(MOD)

JIS B 4313 高速度工具鋼ドリル—技術仕様

注記 対応国際規格：ISO 10899:1998, High-speed steel two-flute twist drills—Technical specifications(MOD)

JIS G 4403 高速度工具鋼鋼材

JIS G 7701 工具鋼 (ISO 仕様)

注記 対応国際規格：ISO 4957:1980, Tool steels(IDT)

TAS 1001 ドリルドライバ用タング付きストレートシャンク

TAS 1101 ストレートシャンクドリル

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS B 0171** による。

4 種類

種類は、全長の区分によって1形及び2形の2種類とする。